

令和6年度 【福崎町】認知症地域支援推進員活動報告

【福崎町】の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：4名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - * 認知症総合支援事業
 - 認知症相談窓口の設置
（認知症相談支援センター）
 - 認知症初期集中支援チーム
 - 認知症カフェへの支援
 - * その他の事業
 - 認知症サポーター養成講座
 - 認知症ケアネットの活用推進

報告者氏名：本窪田里奈

【福崎町】 認知症施策全体図

（認知症総合支援事業）

①認知症相談窓口の設置

地域包括支援センターは、姫路北病院と連携し、認知症の相談に対応しています。

②認知症初期集中支援チーム

認知症の方やその家族に、専門医と保健師等がチームで早期に関わり、速やかに適切な医療・介護等が受けられるよう対応します。

③認知症カフェへの支援

認知症カフェは、地域の方やその家族を支える場です。町内3か所で実施しています。

（その他の事業）

①認知症サポーター養成講座

認知症に関する正しい知識と理解を持ち、地域や職域で認知症の方や家族に対して、できる範囲での手助けをする人を要請します。依頼に応じ、認知症キャラバンメイトを派遣します。

②認知症ケアネットの活用推進

町内に全戸配布したしおりの中に掲載し、周知を図っています。認知症高齢者等見守り・SOSネットワークの活用促進も行っています。

【福崎町】R6年度認知症地域支援推進員具体的活動報告

標題：早期診断後の支援体制整備

☆認知症カフェへの支援

町内3か所で自主運営いただいている認知症カフェに対し、活動補助金の交付や情報共有等、日頃から連携に努めている。

☆認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業の活用推進

平成28年10月開始。令和7年3月末現在、21人の登録あり。担当ケアマネジャーからの事業紹介や、介護保険新規申請時の情報提供等を行い、いざという時のために早めに登録利用していただけるよう、活用推進に努めている。

☆認知症サポーター養成講座実施対象者の拡充

平成27年度から小学4年生を対象に実施しており、令和6年度より中学2年生での講座も開始した。

最後に・・・今後の活動に向けて

(今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い)

☆認知症になっても自分らしく暮らせる町づくりをめざすために、地域支援者の理解・協力を得ながら、見守り体制の構築に努めていきたい。そのためにも、積極的に地域に出向き、地域の方々とつながりを持つ中で、地域課題の共通認識をはかり、できることから取り組んでいきたい。

☆直営の地域包括支援センター内に推進員が全員所属しているという強みを活かし、常に情報共有を行いながら、共に活動していきたい。

